

市民防災研修会報告 「地域力による避難所運営」

依知北地区自治会連絡協議会
副会長 青島徳尚

人の集まり・住む所に地域社会が形成され、そしてそこに住む住民の誰しもが安心で安全な明るい環境の中で、地域社会の発展とともに充実し、暮らしていきたい、と願うものと思います。しかし現在それを脅かし危惧させるものひとつに、まず大地震の発生が挙げられます。さらに言えば過去の発生周期からしても、差し迫った問題として厚木市民共通に関心を持たざるを得ないという状況に到っていると言っても過言ではないと思われれます。

今回の研修会は、不幸にして、私たち厚木市民をも巻き込む大地震が発生したことを想定し、その際被災者を保護し・被害の拡大を阻止する備えとしての避難所について考えるものでした。1月19日(土)・文化会館大ホールには多数の市民及び市内各種関係団体の代表者が参加され「地域力による避難所運営」というテーマのもと、昨年の中越沖地震において、柏崎市比角小学校に開設された避難所にて、民間人ボランティアとして初めて運営責任を委ねられ活躍された横浜市在住の鈴木幸一氏(神奈川県防災ステーション代表)の

講演を聴講しました。(中越沖地震・昨年7月16日中越沖深さ17kmを震源に発生、マグニチュード6.8、新潟県柏崎市を中心に震度6弱を記録、死者11名、重軽傷者1,843名、家屋倒壊1万1,200棟(内全壊961棟)を数えた)氏は平成3年7月の雲仙普賢岳噴火災害にボーイスカウトとして参加され、以来、阪神淡路大震災の救援活動、平成16年の中越地震にも尽力され、今回一連の経験・体験に基づき、かつ、"もし厚木市が被災地になった場合"をも想定し、考察を加え話されました。厚木市では概ね震度5強以上の地震発生と同時に速やかに予定避難所の開設の可否について検討されることになつていると聞いています。また、市民の一人一人がどの避難所を原則利用するかについても、防災訓練時毎のPR・各種の広報・案内板などで周知されつつあると思われれます。

講師の話された比角小学校での主として避難所運営については

① 今まで災害弱者と考えられていた小学生にも意外に貢献が出来る場があるものだ。特に高学年生には簡易包帯作り・簡易テント張り・要援護者や危険箇所の発見・清掃など、日頃からゲーム感覚を取り入れながら、防災教育をすること立派なボランティアの一員になりうる。

② 中学生には荷物の搬出入などについて大人以上の力を発揮してもらった。また自分の体験から言わせてもらえば、可能ならば中学生全員にレスキュースコップを平常時からその時のために預けておきたい気持ちになるほどに評価している。

③ 予定の避難所のエリアに住まわれている方々には得意分野において尽力頂けるよう対応策を講じていくことが望まれる。大工さん・技術と工具、工務店さん・重機や車両やオペレーター、医療関係経験者等へ応急手当や看護・介護などその他、炊き出しやトイレの状況などについて参考となるべきことが多数話されました。また、倒壊した家屋や家



具に挟まれた時、声が出せず、たまたま身につけていた笛(ホイッスル)で命拾いにつながった例など、防災対策へのヒントとなることも講師の言葉の端々からうかがえました。さらに鈴木講師は「首都圏(東京直下型地震に襲われたとき)自助・共助として自衛隊災害派遣等による公助のうち、公助については東京に集中状態になることが予想される」とも話されました。私たちの身近に、いつ起こるかも知れない大地震発生を否定できない限り、自助を基本にして、それに共助である助け合いの輪を、さらに強いものに育てつつ、地域全住民、地域各団体との共同対応によって、その時に備えることが必要である。そしてこの地域が持てる総合力を最大限発揮することにより被害の拡大を防ぎ避難所の運営に万全を期してほしいと説かれました。実体験に裏付けられた話の展開に参加者は皆、熱心に聞き入り、吸収した貴重な知識を今後の防災対策に活かしていくことを各自確認し、研修会は終了した。

最後に中越沖地震発生後約半年、被災者の皆様の一日も早い完全復興をご祈念申し上げるとともに本研修会開催にあたりご尽力頂いた関係者の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

目 標

- ◎みんなの手で育てようあすの自治会を
- ◎地域づくりは市民の民主的・自発的な活動から
- ◎行政と協働で築く豊かな文化

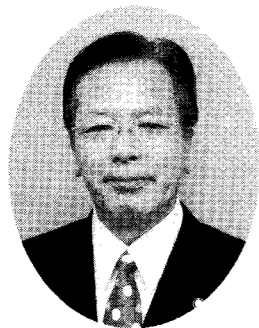
発行 厚木市自治会連絡協議会
編集 自治会連絡協議会広報部
電話 046-225-2101

誰もが安全で安心して暮らせる地域社会に

厚木市自治会連絡協議会
会長 中野正義

早春の候、皆様におかれましてはお元気で過ごさるごことご推察申し上げます。昨年10月発行の『自治会あつぎ』では「ふれ愛 助け愛 支え愛」の地域社会を築いていくことが自治会連絡協議会の使命と申し上げました。また、活動方針として、地域住民の融和、住民自治の確立、福祉の増進、市民生活の向上を掲げ自治会相互の発展と充実、更には市行政との連絡協調のもとに事業を展開して参りました。

自治会の皆様のたゆまぬ努力と、行政を始めとする関係機関の温かいご理解とご指導を頂き、円滑な活動が出来ましたことに感謝の気持ちで一杯です。



厚木市自治会連絡協議会
中野会長

さて、この様な方針のもと、一年間

安心安全なまちづくりに重視して取り組んで参りました。防犯活動では市民の皆様が日常的にセーフティーベストを着用するなどして、子ども達の登下校を見守り、声かけしながら優しく支えて頂き、また、防犯パトロールや民間防犯監視所の設置等にもご努力を頂き犯罪認知件数は6年間連続の減少という結果でした。これは厚木警察署長始め、行政、学校、地域など皆様が一丸となって努力した賜であり心から感謝申し上げます。また、安心安全なまちづくり研修会では、『日本ガーディアンエンジェル』小田理事長のハイレベルの防犯活動事例を学ぶことができました。今年も「怖い」「危ない」「汚い」を排除し、「誰もが安全で安心して暮らせる地域社会」にしていくことを重要な課題として取り組んで参ります。防災活動では、総合防災訓練を始め市民防災研修会を開催し『地域力による避難所運営』について神奈川県災害

ランティアステーションの鈴木代表から学びました。また、一刻を争う心肺蘇生法や自動体外式除細動器「AED」による救命救命法の講習会につきましては、ご理解を頂き約200名の方々に受講して頂いたほか、各種行事の中に講習会として広く導入して頂きました。

交通安全対策では市民総ぐるみ大会を始め、民間交通監視所、飲酒運転撲滅、子ども達の登下校における交通安全など多くの関係団体の皆様のご努力を頂き交通事故撲滅に向かって活動し大きな成果を得ることができました。循環型社会の構築ではごみ減量に努力し、目標値を達成。しかし、ごみの資源化率は、まだまだ努力が必要。そこで、紙ごみゼロ運動を更に強化し、紙資源回収箱を全戸配付してミックスパーパー等の回収に努力いたします。

最後に、いざという時には地域の絆の強さが、命を救うことにつながります。地域を良くするため、会員の皆様から一人でも多くの方に自治会加入をお勧め頂きたいと思っております。

市民の皆様のご健康ご多幸をお祈り申し上げます。

自治会 第53号 あつぎ

三自治会協力して よう良いなまちづくり

及川第一自治会(睦合南地区) 会長 桐生 正夫

及川地区は、大山を頂く東丹沢の稜線を望み、小鮎川、荻野川が流れ、中央部を国道412号線が縦断して、南北には田畑が広がり、北東部は高台で住宅地となっています。

当及川第一自治会は南部地域に当り、昔の面影を多く残す100戸そこそこの自治会で、及川第二、第三自治会と及川地区自治会を組織し活動しています。

及川第一自治会では、安心・安全なまちづくりの一環として、児童の登下校時には防犯と交通安全に配慮しています。本年度より防犯部を設け、防犯パトロールをしていましたが、更に7月に防犯モデル地区に指定され、自治会役員を中心に人員を拡大し継続しています。



ミニデイサービス

11月のミニデイサービスは、敬老感謝の気持ちを込めて、地域の大先輩の方々を招き食事を楽しみながら股旅物や日本舞踊を披露し、大いに喜んでいただきました。

翌日はバーベキュー大会を行った後、ビンゴゲームを楽しみ、幼児からお年寄りまで、約200名の参加を得てふれあいに大いに役立ったと思います。

他に、1月13日にどんどこ焼きを当自治会役員有志にて以前からの伝統で二組に分かれて行い、一年の無病息災を祈りました。

これからも、会員の皆様方の理解と協力を得て、様々な活動を通じ安心・安全なまちづくりに努力したいと思えます。

小いもあじ 大きもあじ自治会

浅後自治会(荻野地区) 会長 天利 芳行

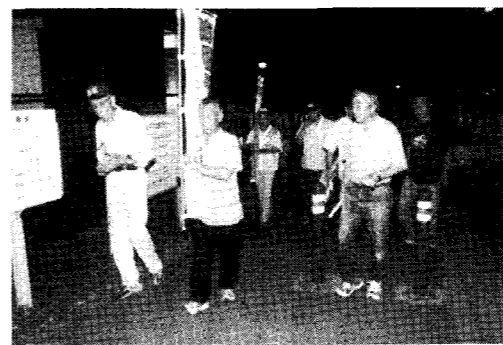
私たちの自治会は、明治の初め頃浅間神社を中心として、道路(現国道412号線)を挟んで、形成された浅間森集落と江戸時代初め頃からある後谷戸集落から成っていました。大正14年に上荻野地区に大火があり、その復興の中で翌年両集落が合併し、浅後自治会となりました。

現在は市街化調整区域で人口増加も少ない小さな自治会であります。

経済活動が活発化する中で、古き良き村落共同体が失われつつある時に、会員の積極的な努力と協力できめ細かい自治会活動が行われています。その成果の一つとして昨年11月に厚木市ごみ対策協議会から、ごみ減量資源化推進活動が評価され表彰されました。

今年度上荻野地区7自治会(用野、北部、丸打、田尻、浅後、峰柄、荒井)は防犯モデル地区の指定を受け、地域住民の防犯意識の高揚を図るために、防犯講習会を開催したり、各自治会毎に毎月4回夜間の防犯パトロールや児童の下校指導を実施しています。

荻野地区の中でも犯罪等大きな問題も比較的少ない地域であります。改めて自治会内をパトロールして見る



総決起集会後の防犯パトロール

と、生活環境等の問題に気付かされます。また色々な情報が得られたり、人間関係が出来たりで、防犯意識を高めると言う目的のみでなく、多くの副産物を得ることが出来て大変有意義な活動と成っています。

更に今年度、上荻野地区に野猿等の対策として、地権者の協力を得て防護柵を設置しています。また平行して、「野猿追い払い隊」を各自治会毎に組織して、人と野猿等との住み分けをする活動と、ヤマビル対策を行っています。

これは荻野地区自治連の要請に対し厚木市が実施している事業で上荻野地区7自治会が中心に活動しています。小さい自治会が故にきめ細かい活動が出来ない一方で、大きな事業は各自治会を核にして上荻野地区7自治会が共同して活動すると言う、変幻自在な活動が出来ると言えます。

小さな自治会

打越自治会(小鮎地区) 会長 臼井 岩男

打越自治会は小鮎小・中学校より西側にあり殆どの土地が調整区域で酪農1戸、畜産1戸と兼業農家、サラリーマンの家庭からなる会員49戸の小さな自治会です。当地区はこの家庭からも連なって見えます。北側には堀切山、南側には昔の面影はないがこうもり山があります。当地区には熊野神社があり、またその隣には自治会館が併設して色々な行事に使用しています。自治会会議、老人会の集まり、また3年に一度のお祭では舞台へと変身します。自治会活動には地域の皆さんが100%参加して下さいます。(9月防災訓練、12月美化清掃)

当地区は草木が多く、美化清掃の時は多数の方に草刈機を持参して頂き、清掃をしています。終了後は熊野神社の境内で忘年会のバーベキューをし、コミュニケーションをはかり和気あいあいとその日を終わりました。

当自治会は小さい為出来る限りに上古沢自治会と共同でイベント等に参加しています。6月に青少年健全育成会ですつまいもの苗植え、11月にさつまいもを掘り焼芋とバーベキューを行いました。当日はあいにくの雨の降る中、役員の方々は子供達に焼芋を食べてもらおうとテントを設営し、炭や薪で火をおこし、焼芋を作りまし。子供達は焼きたての芋を食べた事がありません。



さつまいもの苗植え

様に「おいしい、おいしい」と言いながら食べていました。その姿を見て役員一同やっつてよかった、やる事に意味があったと自己満足しました。

また、当地区と上古沢地区には粗大ゴミの不法投棄が多いためパトロールを実施していますが、その対策に頭を痛めている状況です。

更には、上古沢地区を含めて小さな山が連なっている為鳥獣の被害を年間通し受けています。自治会長の役員は、ロケット花火の音がすると近くの山あいや人家の周りに行き、見つけた猿にロケット花火を飛ばすことです。

しかしながら効果はなく、猿も花火を見ては逃げません。今は棒を持って追いかけるしかありません。また鹿、猪も同様に里山に出て来て畑の作物を食べています。当地区内では畑の作物を焼いて荒らされたい様にしてるのが現状です。

現在、住宅地域に来る有害鳥獣は捕獲しなければなりません。畑を借りて色々作物を作り電気柵で囲いをしてここ数年収穫はあります。かぼちゃのうらなりが採れるくらいです。今年も棒を持って猿を追いかけて日課が多くなりそうです。

思いやりと誠実

岡田第一自治会(相川地区) 会長 松嶋 幸子

岡田第一自治会は、岡田と旭町の境までです。また、酒井金田線を中心に610世帯が東西に二つに分かれています。東側は、相模川に面した自然の景観が残る中に、ソニー第二テクノロジーズセンターが大きく位置し、昔からの家並と新興住宅も多く建ち、昔からの家並と岡田西の前第二公園があります。西側は、岡田団地を除き、その周りを囲むように民家、アパート、マンションが建ち並び県立清南高校も我が地区内にあります。

岡田自治会は、一から四までの自治会が合同で協議し一年間の行事を行っています。4月に行われる神社の祭典には、4自治会の氏子代表、自治会長、組長、婦人部、育成会、子ども会の役員が、一致団結して取り組みます。模範店に始まり、お金をかけずに持ち寄り材料で作る舞台装置は全員の知恵と、大成功を願い地域を思う心がそれは、見事な出来映となり盛大に開催されます。

謝すると共に、4自治会長の誇りと喜びです。岡田自治会の主な行事の中に、盆踊り、防災訓練、ミニデイサービス、敬老会があります。今回はミニデイサービスに、落語家二ツ目の林家なみ平さんに出演依頼を致しました。公演

は大盛況で観談と笑の一時を過ぎ事が出来ました。また敬老会にはカラオケ、舞踊に続き地元の歌手、太田あゆみの歌謡ショーと毎回皆さんの楽しみの一つになっており好評です。

岡田第一自治会独自では、月1回の公園清掃、月2回東西に分かれて行う夜間パトロールを実施しています。防犯灯の玉切れ、公園の見回り、暗い場所の防犯灯の設置など積極的に行政に働きかけています。また集会所の使用も年々増え、室内の汚れも目立つようになり、昨年末には、雨戸の敷居直し、障子、唐紙の張り替え、天井のクロス張り替えをしていただき新年を迎える事が出来ました。それぞれの行事が終ると感動と反省の日々ですが、さらに地域住民と融和を図り、益々岡田第一自治会が発展し、安心安全なまちづくりに、思いやりと誠実をモットーに努力してまいります。



落語を楽しむ